

オートフォーカスマイクロスコープ VIEWTY(ビューティー)



このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、内容を理解してからご使用ください。

また、本取扱説明書はいつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。
本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複製、転載することはおやめください。

※万一、足りないものがございましたら、弊社お問い合わせ窓口にご連絡ください。
※デザイン及び仕様については、改良のため予告なしに変更する場合がございます。
※本書に記載している製品名、サービス名等は各社の登録商標です。

目次

安全上のご注意	1
各部の名称と機能	2
内容物	4
アタッチメントの種類	5
アタッチメントの交換方法	6
Android端末で使用する	7
アプリのインストール	7
Androidアプリの操作方法	9
画面について	9
パソコンで使用する	16
ソフトウェアのインストール	16
Anytyの起動	19
Anytyの操作方法	21
画面について	21
各種ボタン	22
撮影する	25
計測機能を使う	26
お手入れ方法	32
保管方法	32
廃棄	32
故障かな？と思ったら	33
製品仕様	34
パソコン動作要件	35
サポート及び企業情報	巻末

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

※ここに示した内容は、製品を安全に正しくご使用いただき、使用者や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するためのものです。

警告

- 本体を落としたり、上に物を落とすなど、本体に強い衝撃や振動を与えないでください。破損し、故障の原因となります。
- 本体、エンドキャップ各種を水中で使用したり、水をかけたり、水に浸したりしないでください。故障、感電のおそれがあります。
- 濡れ手でUSBケーブルに触れたり、本体の操作をしないでください。感電のおそれがあります。
- 本体を分解・修理・加工・改造したりしないでください。故障、感電のおそれがあります。

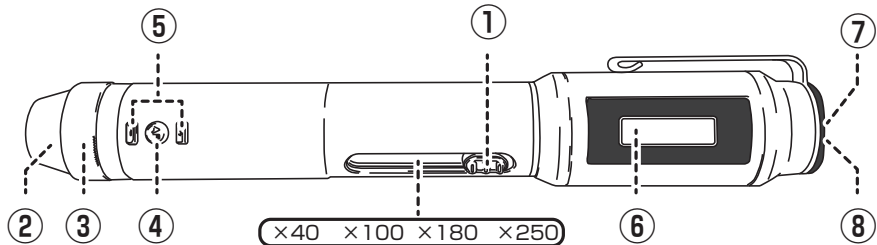
注意

- エンドキャップの取り付けは必ずUSBケーブルを抜き、無理な力を加えず確実に行ってください。本体の破損や故障の原因となります。
- 必ず本製品からUSBケーブルを抜いてお手入れを行ってください。思わぬ事故や故障の原因となります。
- お手入れでシンナー、ベンジンなどの有機溶剤、クレンザー、金属たわしなどは使用しないでください。変色・変形・変質のおそれがあります。
- LED照明を長時間直視しないでください。視力に障害を及ぼすおそれがあります。
- 専用ケースに入れ、直射日光の当たらない湿気の少ない風通しの良い暗所で保管してください。故障のおそれがあります。

※本来の用途以外での使用により発生した損害等に関しては、弊社は一切の責任を負わないものとします。

各部の名称と機能

マイクロスコープ本体



①モード変更スイッチ

モード変更を行います。

モード(LCD表示)	最大倍率:動作距離(WD)
×40 [3cm ~ INF]	40 倍 : 3cm ~ ∞
×100 [1 ~ 5cm]	100 倍 : 1 ~ 4.5cm
×180 [0 ~ 2cm]	180 倍 : 0 ~ 1.7cm
×250 [0 ~ 1cm]	250 倍 : 0 ~ 0.8cm

②アタッチメント

※本体に『標準アタッチメント』
が取り付けられています。

③ホルダ

アタッチメントの固定に使用します。

④オートフォーカスボタン

短く押す…自動でフォーカスを合わせます。
長く押す…静止画が撮影されます。

⑤マニュアルフォーカスボタン

手動でフォーカスを合わせる場合に使用します。
長押しをする事で以下の操作が行えます。

⊖ 長押し…LEDのON/OFF

⊕ 長押し…デジタルズーム(×1.5→×3.0→×1.0)

⑥LCDディスプレイ

各種情報を表示します。

⑦リモコン受光部

付属のリモコンの信号をここで受信します。

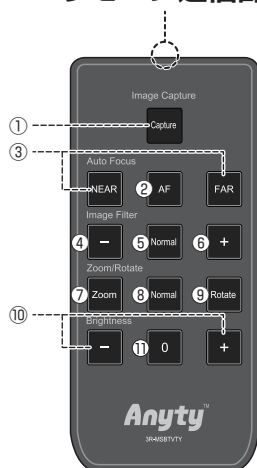
⑧USB端子

USB ケーブルを接続します。

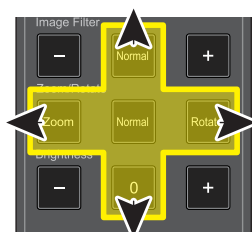
各部の名称と機能 つづき

リモコン

リモコン送信部



フォーカスポイント設定



Zoom/Rotateの **Normal** (Normal) ボタンを押すと、画面中央にフォーカスポイントを表す  が表示されます。周囲のボタンで上下左右に移動させ、希望のフォーカスポイントを設定できます。

Image Capture



① 静止画撮影・保存

表示されている画像を撮影・保存します。

Auto Focus



② オートフォーカス



③ マニュアルフォーカス

手でフォーカスを合わせます。

Image Filter



④ 目盛色変更

目盛の表示色を変更します。
(黒→白→緑→桃→赤→黄→青→…)



⑤ 目盛表示切替

目盛の表示/非表示を切り替えます。



⑥ 目盛形式変更

目盛の形式を変更します。(2軸↔4軸)

Zoom/Rotate



⑦ 拡大

デジタルズームを行います。
(×1.5→×3.0→×1.0→…)



⑧ 設定を解除します。



⑨ 回転

画像を回転させます。

Brightness



⑩ 明るさ調整

※実際のLEDの明るさは変更されません。
ソフトウェア上で調整されます。



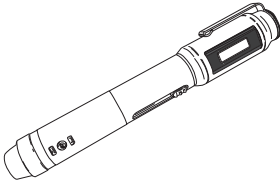
⑪ リセット

設定をリセットします。

内容物

開梱後、以下の内容物がそろっているか確認してください。
不足・破損などがございましたら、大変お手数ですがご購入店へご連絡ください。

☐ マイクロスコープ本体



☐ 標準アタッチメント
※本体に取り付け済



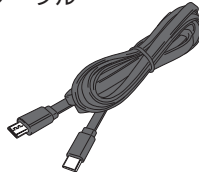
☐ 小径アタッチメント



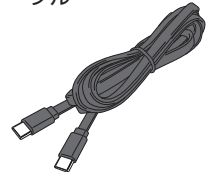
☐ USB-A/USB-C
ケーブル



☐ microUSB/USB-C
ケーブル



☐ USB-C/USB-C
ケーブル



☐ リモコン



☐ その他(専用ケース／取扱説明書※本書)

アタッチメントの種類



標準アタッチメント

標準アタッチメント

×40、×100、×180、×250で観察可能。



小径アタッチメント

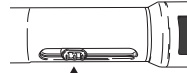
小径アタッチメント

隙間(穴)やコーナーなどの観察用。

倍率は100倍固定となります。(作動距離(WD):0~2cm)

⚠ 注意

※倍率変更スイッチは必ず『×100』の位置に合わせてご使用ください。それ以外の倍率ではフォーカスが合いません。



×100に合わせる

●別売りオプション品



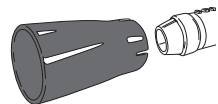
低倍率
アタッチメント

低倍率アタッチメント

40倍で観察を行いやすい距離に対象物を合わせることができます。

⚠ 注意

※低倍率アタッチメントは単独では使用できません。標準アタッチメントにかぶせる様にして取り付けて使用します。



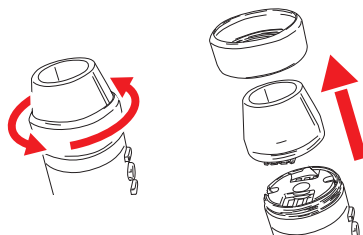
アタッチメントの交換方法

⚠ 注意

アタッチメントの取り付けは、必ずUSBケーブルを抜いた状態で行ってください。
アタッチメントが正しく認識されず、本体が故障する恐れがあります。

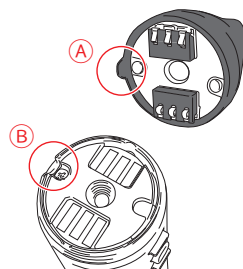
1. アタッチメントの取り外し

ホルダを矢印の方向に回し緩め、アタッチメントを取り外します。



2. アタッチメントの取り付け

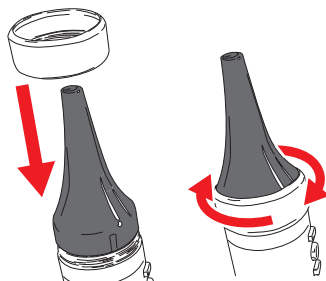
アタッチメントの突起④と、本体の窪み⑤の位置を確認します。



突起④と窪み⑤を合わせ、ホルダをかぶせて矢印の方向にねじ込み固定します。

⚠ 注意

※ホルダの取り付けは、アタッチメントとマイクロスコープ本体をしっかりと密着させて行ってください。密着させずに無理にねじ込むとネジ山が壊れてしっかりと固定できなくなるおそれがあります。



Android端末で使用する

重要

※一部のAndroid端末でのみご使用いただけます。
※弊社でご購入されたタブレット端末にはインストール済です。

アプリのインストール

1. ダウンロード

- ①Android端末をインターネットに接続。右記のQRコードをスキャンし、アプリ(.apkファイル)をダウンロードします。



【QRコードが読み込めない場合】

<https://3rrr-btob.jp/soft/> (ソフト・アプリダウンロード)

- ①「キーワードから探す」に MSBTVTY と入力し、 をクリック。
- ②表示された「Androidアプリ」の右側の  をクリック。

- ②ダウンロードされた.apkファイルをタップします。

※インストールできない場合は、設定を開き「この提供元を許可」の許可をONにしてください。

2. インストール

インストールが開始され、端末に「Anyty」がインストールされます。

Android端末で使用する つづき

アプリの起動

1. Anytyアプリを起動する。

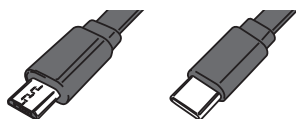
ホーム上の  をタップします。アプリが起動します。

2. マイクロスコープ本体を接続する。

接続するAndroid端末のUSB端子に合った付属のUSBケーブルを使用して、マイクロスコープと接続してください。

☐ microUSB端子の場合

microUSB/USB-Cケーブル

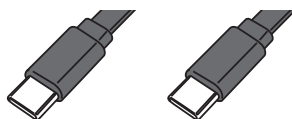


Android
端末へ

マイク
ロスコ
ープへ

☐ USB-C端子の場合

USB-C/USB-Cケーブル



どちらを差し込んでもOK

3. アクセス許可

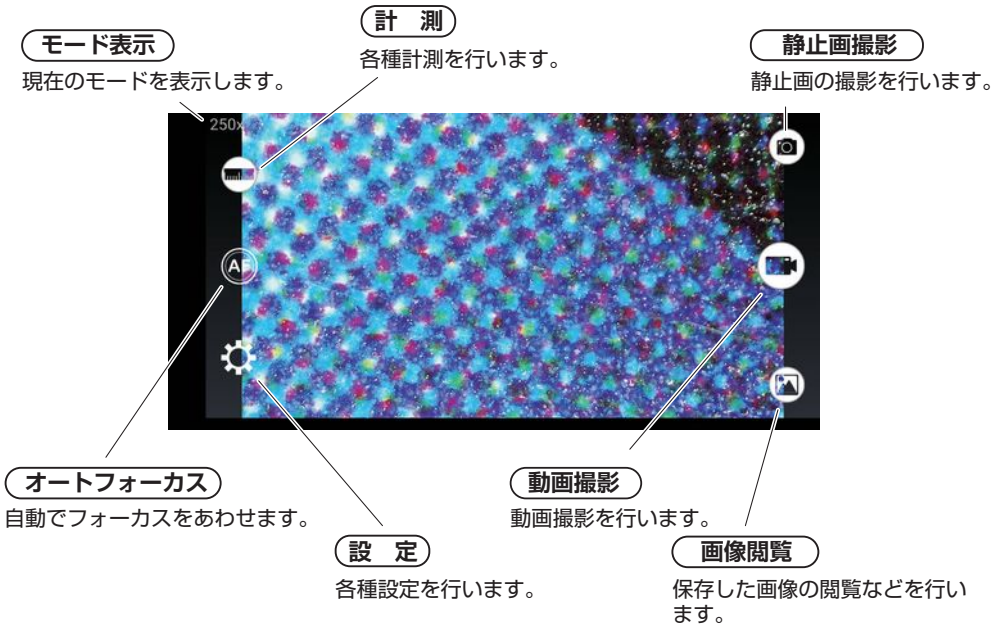
「USBデバイスへのアクセスを許可しますか？」と表示されます。「OK」をタップしてください。

※表示されるメッセージは端末により異なります。



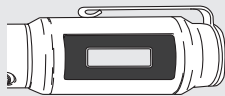
Androidアプリの操作方法

画面について



映像が表示されない(Android端末ではじめてご使用される場合のみ)

マイクロスコープ本体の「LCDディスプレイ部」は表示されているが
Android端末上に映像が表示されない場合



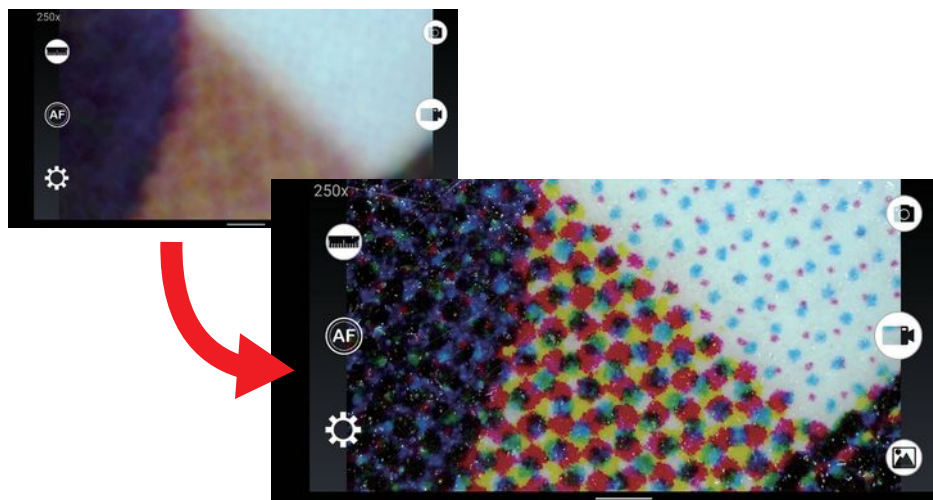
お使いのAndroid端末が本製品に未対応です。
Android端末では動作する端末が限定的であり、全ての端末で動作を保証することできません
ので、以下の方法をご検討ください。

- ・Windows パソコンでの使用
- ・動作確認済みAndroid端末での使用(当社サポートページを参照ください)

Androidアプリの操作方法 つづき

オートフォーカス

タップすると映像中心を対象としてフォーカスを自動で合わせます。



静止画撮影

タップすると静止画を撮影し保存します。

動画撮影

タップすると動画撮影を開始します。

動画撮影中はアイコンが赤表示  になり、右上に **REC** が表示されます。

 をタップすると撮影を終了し、動画として保存します。

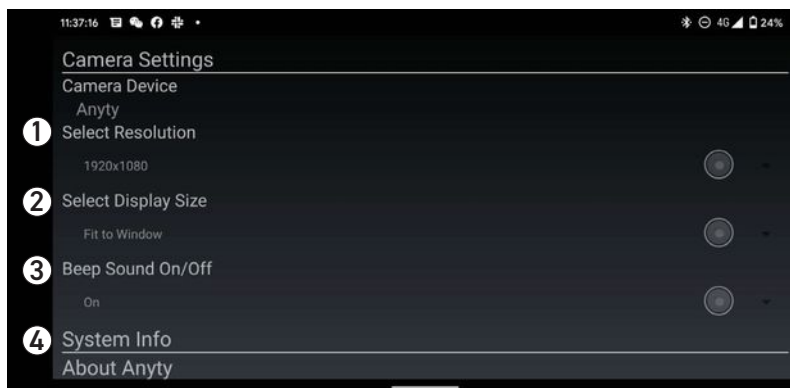


Androidアプリの操作方法 つづき



設定

各種設定を行います。



①Select Resolution

解像度の変更が行えます。

(1920×1080 ,1280×720 ,720×480 ,640×480)

②Select Display Size

表示サイズを変更します。

・Fit to Window …表示をウィンドウに合わせる

・Fit to Resolution …表示を解像度に合わせる

③Beep Sound On/Off

Offに設定するとアプリ上の撮影ボタンをタップしても「シャッター音」が鳴りません。

※マイクロスコープ本体の「ビッ音」は消せません。

④System Info

お使いのAndroid製品の情報が表示されます。

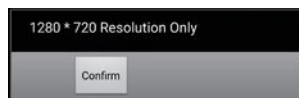
Androidアプリの操作方法 つづき



計測

⚠ 注意

※計測機能は解像度が「1280×720」でのみ実行
できます。他の解像度で計測を行おうとした場
合、右のメッセージが表示され使用できません。



設定アイコン  をタップし「Select Resolution」→「1280×720」に設してから、再度実行してください。

2点間の長さ、円形、四角形および角度を計測できます。



長さ : タップ後、表示された線の両端をドラッグして調整します。



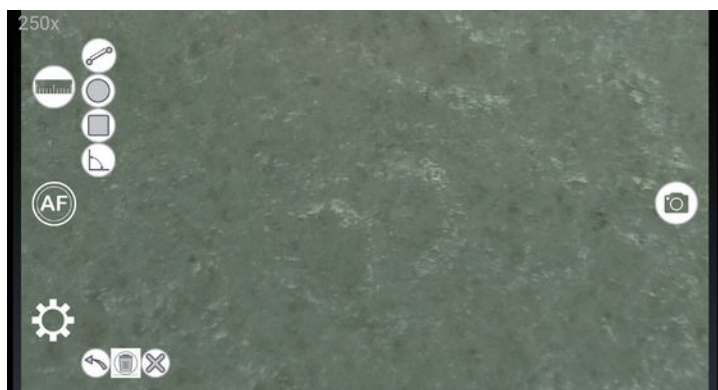
円 : タップ後、表示された円の中心点と円周上の点をドラッグして調整します。



四角形 : タップ後、表示された四角形の対角の点をドラッグして調整します。



角度 : タップ後、表示された3点をドラッグして調整します。



描画された図形、値を含めて画像を保存します。



一つ前の作業に戻ります。



描画した図形、計測結果を削除します。



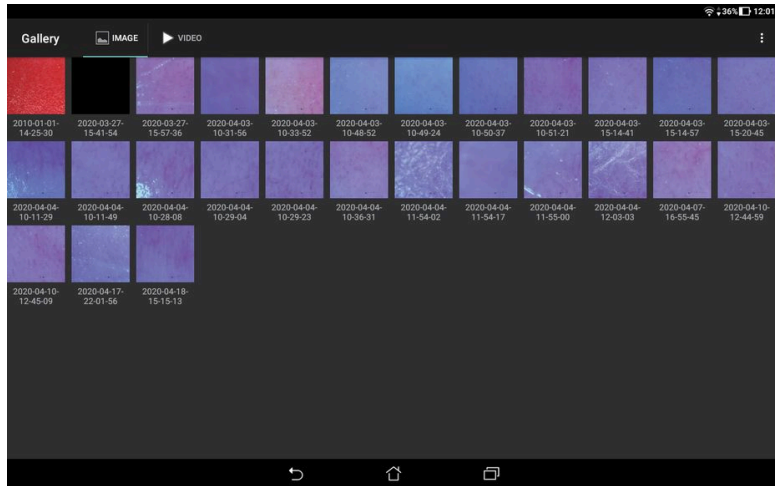
計測を終了します。

Androidアプリの操作方法 つづき



画像閲覧

タップすると保存済み画像一覧が表示されます。



1. 「静止画/動画」の切り替え

一覧画面左上の「IMAGE」「VIDEO」で一覧の切り替えを行います。



・・・ 撮影済み静止画の一覧をサムネイル表示します。



・・・ 撮影済み動画の一覧をサムネイル表示します。

2. 「静止画の閲覧」

静止画のサムネイルをタップすると、画像が表示されます。

画像の削除/保存名の変更

画像表示状態で、画像をタップします。画面下に以下のアイコンが表示されます。



・・・ 画像のファイル名を変更します。
テキストボックス内にファイル名を入力し、「Rename」をタップしてください。



・・・ 画像を削除します。
確認画面が表示されますので削除OKであれば、「DELETE」をタップしてください。

Androidアプリの操作方法 つづき

3. 「動画の閲覧」

動画のサムネイルをタップします。動画が表示され、自動的に再生されます。

再生方法 ほか

画像表示状態で、画像をタップします。画面下のアイコン、スライドバーで操作します。

▶ 再生します。

▶▶ 動画の「終点」に移動します。

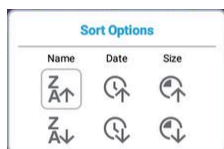
◀◀ 動画の「始点」に移動します。

◯———— スライドさせて再生地点を指定します。

4. 静止画／動画の並び替え

「ファイル名」「日付」「ファイルサイズ」を条件に画像の並び替えを行います。

- ①一覧画面右上の  をタップします。
- ②  をタップします。
- ③表示されるウィンドウから希望する並び替え方法をタップします。



 名前順で昇順/降順に並び替え

 日付で昇順/降順に並び替え

 ファイルサイズで昇順/降順に並び替え

5. 削除(複数削除)

- ①静止画／動画の一覧(サムネイル表示)画面で、削除したい画像を「タップアンドホールド(タップしたままの状態)」します。サムネイル左上に選択されていることを表す  が表示されます。
- ②ほかに削除したい静止画／動画があれば、そのサムネイルをタップします。そのサムネイルの左上にも  が表示されます。これを削除対象すべてに行います。
- ③一覧画面右上の  をタップします。確認メッセージが表示されますので、削除OKであれば「DELETE」をタップしてください。チェックした静止画／動画が削除されます。

6. ファイル名を変更

- ① 静止画／動画の一覧(サムネイル表示)画面で、ファイル名を変更したい画像を「タップアンドホールド(タップしたままの状態)」します。サムネイル左上に選択されていることを表す  が表示されます。
- ② 一覧画面右上の  をタップします。表示されるウィンドウ内のテキストボックスにファイル名を入力し、「Rename」をタップしてください。ファイル名が変更されます。

パソコンで使用する

ソフトウェアのインストール

1. ダウンロード

パソコンをインターネットに接続し、下記からインストーラーをダウンロードします。

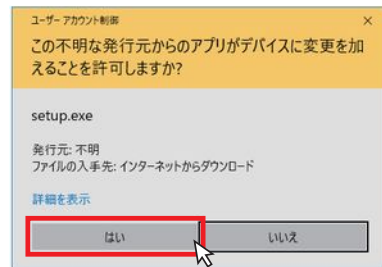
<https://3rrr-btob.jp/soft/> (ソフト・アプリダウンロード)

- ①「キーワードから探す」に MSBTVTY と入力し、 をクリック。
- ②表示された「Windows用ソフトウェア Ver.x.x.x」の右側の  をクリック。
- ③ダウンロードされた「3r-msbtvty_setup_verx.x.x.zip」を解凍します。

2. インストール

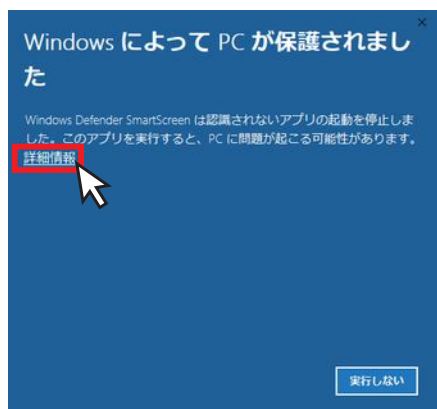
- ①解凍したフォルダ内の『Anyty-x.x.x_2ch-setup.exe』をダブルクリックし、インストーラーを開始します。

※『ユーザーアカウント制御』が表示された場合は『はい』をクリックします。

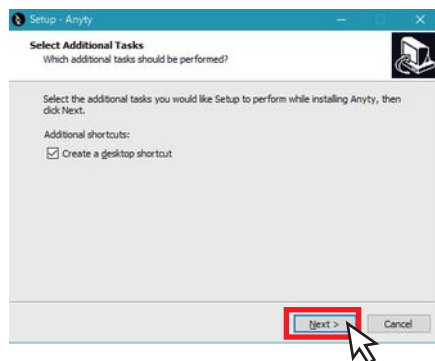


パソコンで使用する つづき

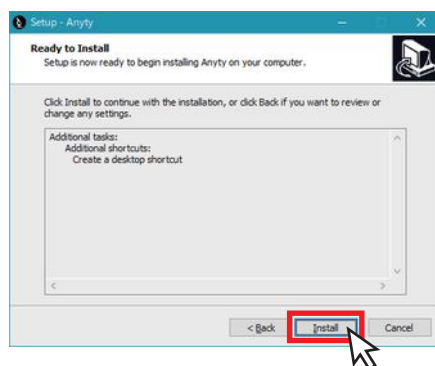
※『Windowsによってパソコンが保護されました』が表示された場合は『詳細情報』をクリックします。表示された『実行』をクリックします。



②『Select Additional Tasks』が表示されます。『Create a desktop shortcut』のチェックが☒になっていることを確認し『Next >』をクリックします。

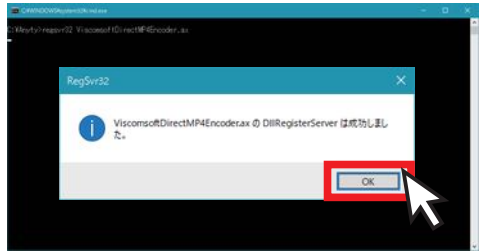


③『Ready to Install』が表示されます。『Install』をクリックします。インストールを開始します。

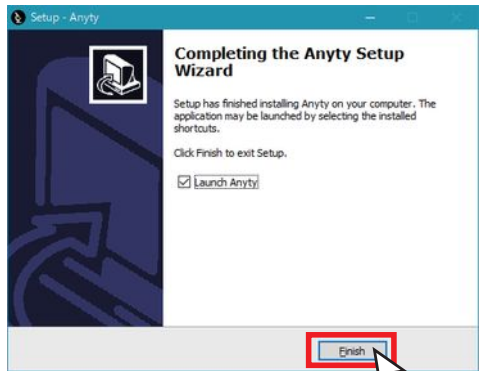


パソコンで使用する つづき

- ④『RegSvr32』ウィンドウが表示されます。
『 OK 』をクリックしてください。



- ⑤『Completing the Anyty Setup Wizard』と表示されます。『 Finish 』をクリックしてください。



以上でインストール作業は完了です。

Anytyの起動

1. 『Anyty』を起動する。

デスクトップ上の  をダブルクリックして起動します。

⚠ 注意

「.NET Framework」の問題で起動しない場合

インストール後「Anyty」をダブルクリックした際に、以下の様なメッセージウィンドウが表示され正常に起動しない場合があります。

「.NET Frameworkが必要です。」
「.NET Frameworkをインストールする必要があります。」等



これはソフトウェアの使用に必要な「.NET Framework」がお使いのパソコンにインストールされていない事が原因です。

ご使用いただくには以下を実施してください。

【Windows Updateを実施する】

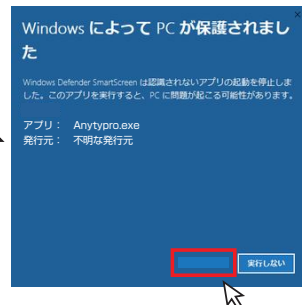
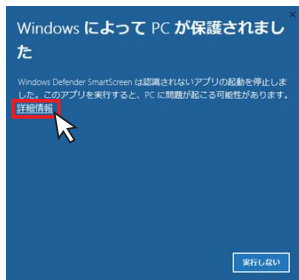
Windows Updateを実施し（場合によっては繰り返し行う必要があります）、Windowsを最新の状態にしてください。これで「.NET Framework」がインストールされた状態となります。

『ユーザーアカウント制御』が表示された場合、
『はい』をクリックしてください。

※表示される内容は、OSのバージョンにより異なります。



『Windowsによってパソコンが保護されました』が表示された場合、
『詳細情報』をクリックし、表示された『実行』をクリックしてください。



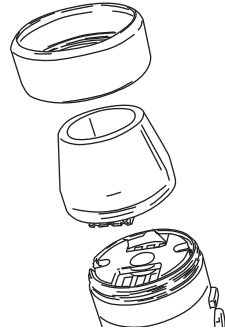
Anytyの起動 つづき

2. 使用するアタッチメントを取り付ける。

パソコンに接続する前に、使用するアタッチメントを取り付けます。

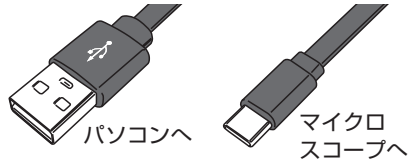
⚠ 注意

アタッチメントの取り付けは、必ずUSBケーブルを抜いた状態で行ってください。アタッチメントが正しく認識されず、本体が故障する恐れがあります。



3. マイクロスコープ本体を接続する。

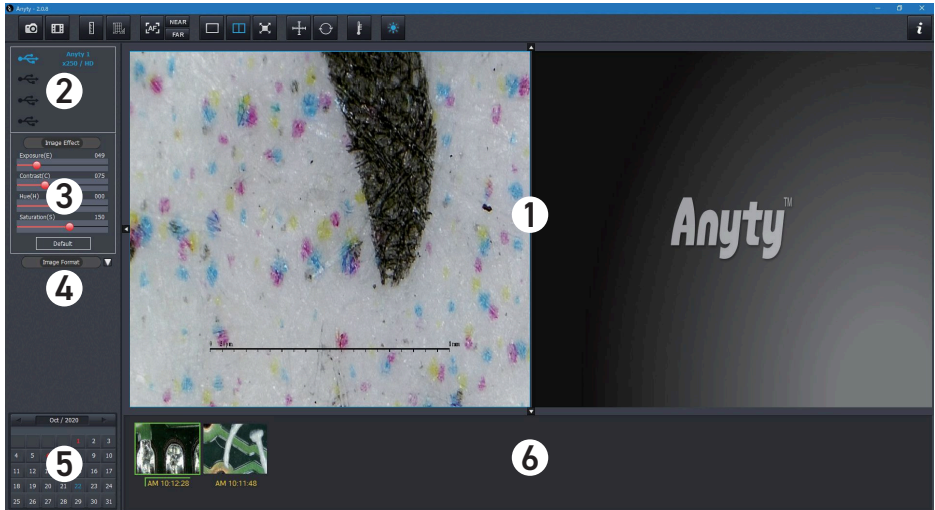
付属のUSB-A/USB-Cケーブルを、マイクロスコープ本体のUSB-C端子、パソコンのUSB端子それぞれに接続します。
マイクロスコープが正しく認識されると、LEDが点灯し、映像が映し出されます。



⚠ 注意

※パソコン、USBハブの仕様によっては、正しく動作しない場合があります。

Anytyの操作方法



① イメージウィンドウ

マイクロスコープからの画像が表示されます。

② デバイスパネル

接続されているマイクロスコープの情報が表示されます。

③ Image Effectボタン

映像の画質調整が行えます。

Exposure(E)	明るさ
Contrast(C)	コントラスト
Hue(H)	色相
Saturation(S)	彩度

「Default」をクリックすると初期値に戻ります。

④ Image Formatボタン

「Image Format」右の▼をクリックすると、解像度の変更が行えます。希望の解像度を選択後「Confirm」をクリックしてください。

⑤ カレンダーパネル

静止画/動画が記録された日付が赤色表示され、日付をクリックするとサムネイルパネルに記録内容が表示されます。「月」を変更するには「年月表示」横の◀▶をクリックします。

⑥ サムネイルパネル

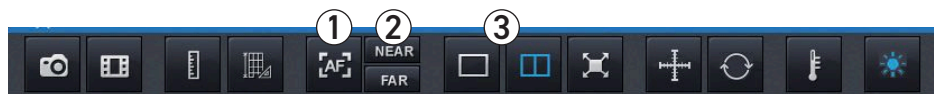
選択した日付に記録された静止画/動画がサムネイル表示され、ダブルクリックすると表示/再生されます。サムネイル上で右クリックすると以下の操作が行えます。

Delete	削除
Save As	フォルダを指定し保存します
Open media folder...	保存フォルダを開きます

【イメージウィンドウのサイズを調整する】

イメージウィンドウ枠上の◀◻▶をクリックすると、サイズの変更ができます。

各種ボタン



①Auto Focus(オートフォーカス)

映像の中心に自動でフォーカスを合わせます。



②NEAR/FAR(フォーカス調整)

フォーカスの微調整を手動で行えます。

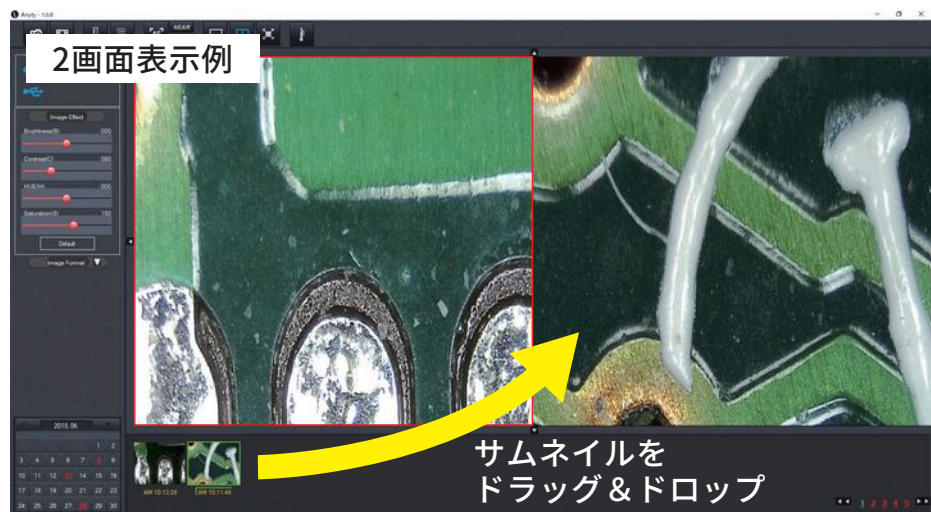


③One ChannelTwo Channel(表示切替)

1画面、2画面表示の切り替えを行います。



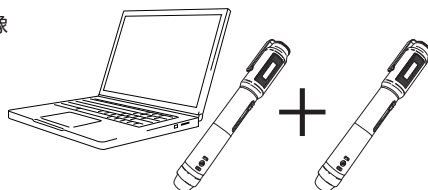
記録済み画像のサムネイルを右画面にドラッグ&ドロップして表示させ、左画面のマイクロスコープ映像との比較を行うことができます。



【マイクロスコープ2台の映像を同時に観察するには】

本製品を2台接続すると、2つのマイクロスコープの映像を同時に観察することが可能となります。

※別途本製品(3R-MSBTVTY)を追加でご購入ください。



各種ボタン つづき



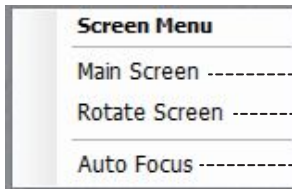
④ Full Screen(全画面表示)



イメージウィンドウを全画面表示します。

→「ESCキー」を押すと元の画面に戻ります。

→映像上でマウスを右クリックすると「Screen Menu」が表示されます。



Main Screen ----- 元の画面に戻ります

Rotate Screen ----- 映像を180°回転させて表示します

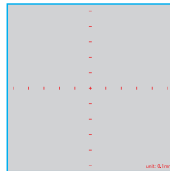
Auto Focus ----- オートフォーカスを実行します

⑤ Ruler(十字スケール)



マイクロスコープからの映像上にスケールを表示します。クリックするたびに「水平スケール」→「十字スケール」→「非表示」→…を繰り返します。

十字スケールの表示例

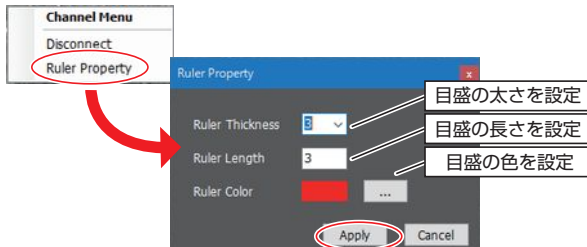


unit: 0.1mm

1目盛りの値

【目盛の太さ・長さ・色を変更する】

映像上でマウスを右クリック後、表示されるメニューで「Ruler Property」をクリックし、各種設定後「Apply」をクリックしてください。



目盛の太さを設定

目盛の長さを設定

目盛の色を設定

Apply Cancel

各種ボタンつき



⑥ Normal View ↔ Rotate View (180° 回転)

映像を180°回転させて表示します。
※リモコンの「Rotate」ボタンでも操作可能です。



⑦ LED ON / LED OFF

先端LEDライトの点灯/消灯を行います。
※マイクロスコープ本体の  ボタン長押しでも操作可能です。



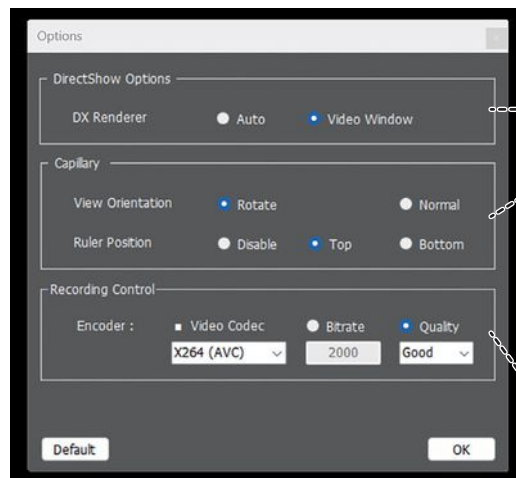
⑧ About

ご使用のパソコン、接続されているマイクロスコープの情報を表示します。

ルーラーの表示

※×250モードのみ表示され設定可能です。

画面左上の  をクリックし、表示されたメニューの「Options」をクリックします。



① DirectShow Options

この機能は使用しません。

② Capillary

View Orientation

この機能は使用しません。

Ruler Position

ルーラーの表示設定を行います。
非表示、上部表示、下部表示が選択できます。
※×250のモードのみ使用され設定可能です。

③ Recording Control

動画撮影時のレコーディング設定を行います。
コーデック、ビットレート、品質が選択できます。

撮影する

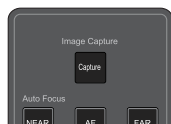
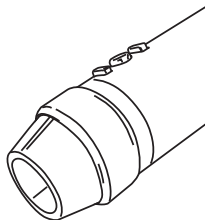


① 静止画の撮影(一時停止表示)

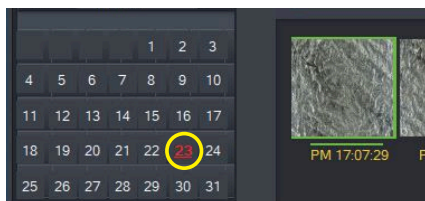
静止画が撮影・保存されます。

保存された静止画はイメージウィンドウにプレビュー表示されます。

本体 (AF) ボタン長押しでも▶
撮影可能です。



◀リモコン「Capture」ボタン
でも撮影可能です。



※カレンダーパネルでは静止画・動画が保存されている日付は赤く表示されます。赤い日付をクリックすると、その日に保存されている静止画・動画がサムネイル表示されます。

- 撮影後は映像がフリーズ状態となり、右上に「Pause」と表示されます。解除するには以下のいずれかを行ってください。

- ・パソコンソフト上の [AF] アイコンをクリック。
- ・マイクロスコープ本体の (AF) ボタンを押す。
- ・リモコンの [AF] ボタンを押す。

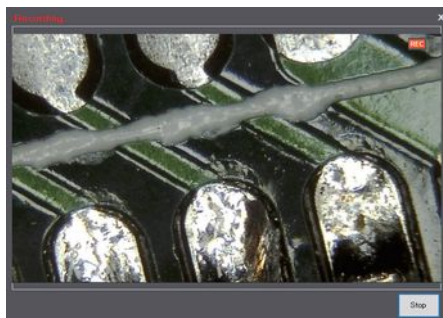


② 動画の撮影

別画面が開き動画撮影が開始されます。

右下の「Stop」をクリックすると撮影が終了します。

静止画と同様に、保存された動画はサムネイルパネルに表示されます。



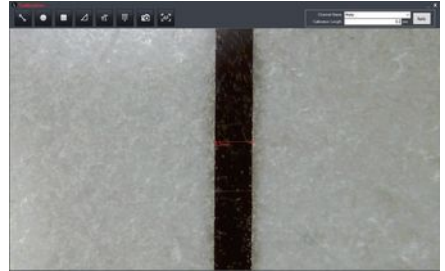
計測機能を使う

計測の前に



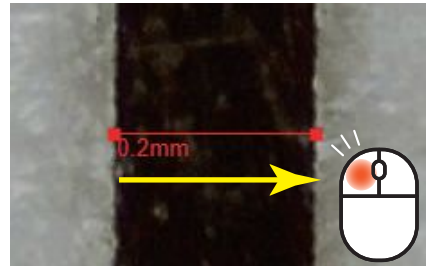
マニュアル計測

事前に基準となる長さを記憶させ、それを基に計測を行います。『オート計測』に比べより正確な計測結果が得られます。

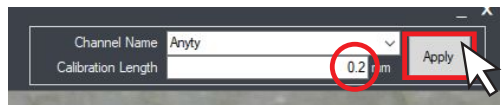


【基準値の入力】

- ①計測を行いたい焦点距離になるようにスタンドなどで本体を固定します。
- ②「基準となる長さ」が読み取れるスケールシートなど映し出し、オートフォーカスして焦点を合わせます。
- ③基準の長さを指定します。長さの始点から終点までをドラッグ&ドロップして直線を引きます。



- ④右上の『 Calibration Length 』に③の直線の正しい長さをmm単位で入力し、『 Apply 』をクリックします。



各種計測の方法は次ページ「各種計測の方法」を参照してください。

⚠ 注意

※上記準備の後対象物の計測を行う場合はマイクロスコープ本体やスタンドを動かさずに行ってください。「オートフォーカス」など調整を行ったり、スタンドを動かすなどで本体と対象物の距離が変更されたりした場合には再度「基準値の入力」作業が必要となります。

計測機能を使う つづき

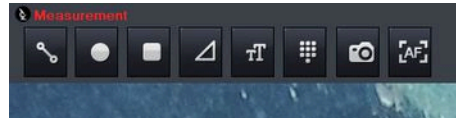


オート計測

焦点距離を基に計測を行います。『マニュアル計測』に比べ手軽に計測できますが、誤差が大きくなります。

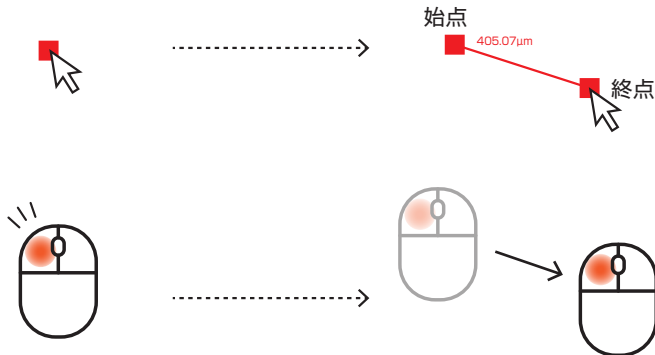
各種計測の方法

各オブジェクト(直線、円、方形、角度、テキスト)を描画し、各種測定が行えます。



直線(2点間の距離)

ドラッグ&ドロップした2点間に直線を引き、その長さ(距離)を表示します。



左ボタンをクリックし、ボタンを押したまま移動

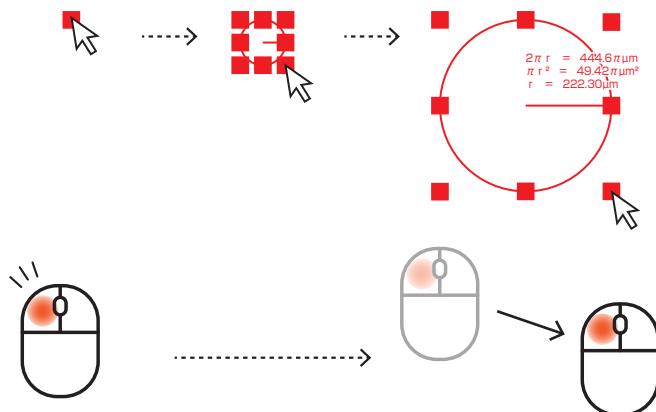
※直線の始点/終点 ■ はマウスで自由に移動できます。

計測機能を使うつづき



円(半径、円周、面積)

ドラッグ&ドロップした部分を対角として円を指定します。半径、円周、面積を表示します。



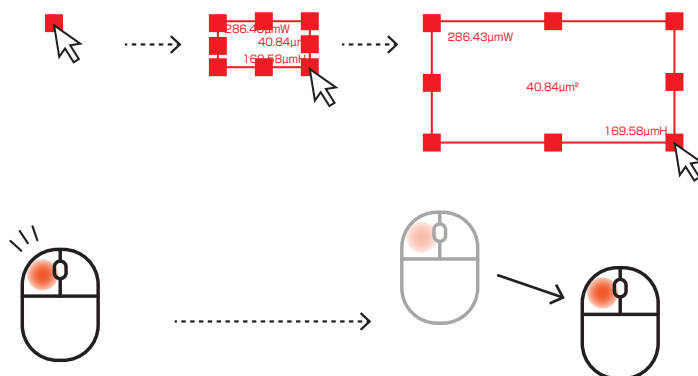
左ボタンをクリックし、ボタンを押したまま移動

※各点■はマウスで自由に移動できます。



方形(各辺の長さ、面積)

開始点からドラッグ&ドロップした直線に対角として方形を描きます。各辺の長さ、面積を表示します。



左ボタンをクリックし、ボタンを押したまま移動

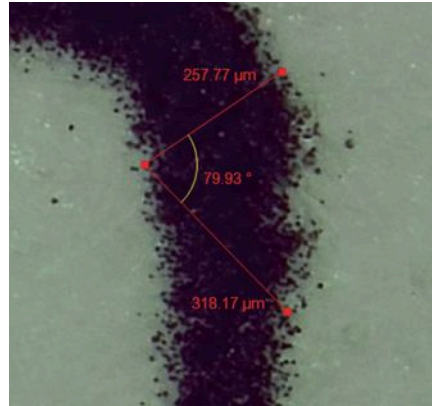
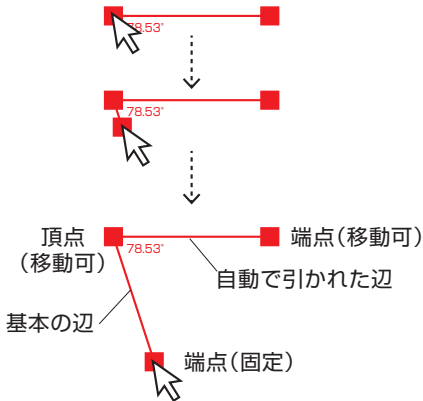
※各点■はマウスで自由に移動できます。



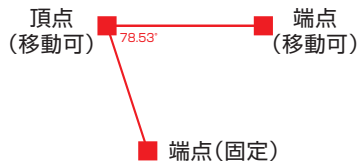
2辺に挟まれた角度

頂点とする箇所からドラッグ&ドロップして描かれた直線を「基本の辺」として、「自動で引かれた辺」の「端点」を移動させて2辺に挟まれた角度を表示します。

①ドラッグ&ドロップして線を引きます。これが基準の辺となります。



②「自動で引かれた辺」の「頂点」「端点」をドラッグして移動することで「基本の辺」に挟まれた角度を表示します。



テキスト入力

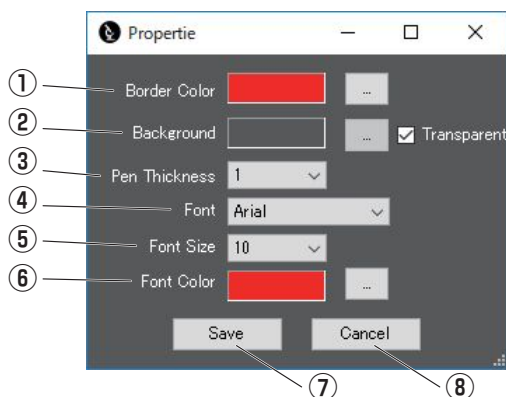
- ①任意の場所に文字を挿入します。
- ②挿入したい場所でドラッグ&ドロップして「テキスト入力ボックス」を作成します。
- ③テキストを入力し、終わったらキーボード上の「エンターキー」を押します。

計測機能を使う つづき



設定

描画するオブジェクトの各種設定を変更します。



① **Border Color**

図形の線の色を指定します。
[...]を押して色を指定し「OK」を押してください。

② **Background**

図形の塗りつぶしの色を指定します。
※初期状態では「塗りつぶしなし」に設定されています。
変更するには「Transparent」のチェックを外してから [...]を押して色を指定し「OK」を押してください。

③ **Pen Thickness**

図形の線の太さを指定します。
プルダウンメニューから指定してください。

④ **Font**

テキストのフォントを指定します。
プルダウンメニューから指定してください。

⑤ **Font Size**

テキストの文字サイズを指定します。
プルダウンメニューから指定してください。

⑥ **Font Color**

テキストの色を指定します。
[...]を押して色を指定し「OK」を押してください。

⑦ **Save**

変更内容を反映させます。

⑧ **Cancel**

変更内容をキャンセルします。

計測機能を使う つづき



計測画面の撮影・保存

描画した図形、テキスト、測定値なども記録されます。保存された静止画は、サムネイルパネルに表示されます。



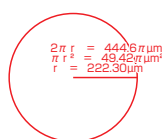
オートフォーカス

映像中心に自動でフォーカスを合わせます。

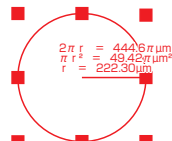
オブジェクトの選択

削除など行う場合、対象オブジェクトを選択状態にする必要があります。

オブジェクト上でクリックすることで選択状態にできます。



未選択状態



選択された状態

右クリックメニュー



① All Select

すべてのオブジェクトを選択状態にします。

② All Unselect

すべてのオブジェクトを未選択状態にします。

③ Delete

選択されているオブジェクトを削除します。

④ All Delete

すべてのオブジェクトを削除します。

⑤ Undo

一つ前の動作に戻します。

⑥ Redo

一つ先の動作に進みます。
※「Undo」を行った場合のみ。

⑦ Set Properties

選択したオブジェクトの設定ができます。
※P30を参照

⑧ Pause/Preview

映像の停止/解除をおこないます。

⑨ Image Effect

計18種類のエフェクト適用します。

お手入れ方法

注意

- ※必ずUSBケーブルをUSBポートから抜いて、お手入れを行ってください。故障の原因となります。
- ※水洗いは行えません。水をかけたり、水に浸したりしないでください。故障や感電のおそれがあります。
- ※シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。変色・変形・変質のおそれがあります。
- ※マイクロスコープ本体、アタッチメントの接続端子部分は手で触れたりしないでください。接触不良により、アタッチメントを正常に認識できないおそれがあります。

マイクロスコープ本体

汚れた場合、柔らかい布で乾拭きを行ってください。汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き、乾いた柔らかい布で拭き上げてください。

アタッチメント

汚れた場合、柔らかい布で乾拭きを行ってください。

保管方法

上記「お手入れ」を実施後、ケーブルを外した状態で、専用ケースへ収納してください。直射日光が当たらず、湿気の少ない風通しの良い暗所で保管してください。

廃棄

本製品を廃棄する場合は、お住まいの自治体のルールに従って適切に処理を行ってください。

故障かな？と思ったら

症 状	考えられる原因	確認していただきたいこと・お試しいただきたいこと
電源が入らない (LEDディスプレイ消灯)	USBケーブルが正しく接続されていない	パソコン、Android端末との接続を再度確認してください。
パソコン、 Android端末に画 像が表示されない	USBケーブルが正しく接続されていない	パソコン、Android端末との接続を再度確認してください。
	アタッチメントが正しく取り付けられていない	USBケーブルを抜き、ホルダーを外してアタッチメントの取り付け直しを行ってください。
	USBケーブルを抜かずにアタッチメントの交換を行った	アタッチメントの交換は、必ずUSBケーブルを抜いてから行ってください。故障の原因となります。
	付属品以外のUSBケーブルを使用して接続している	充電専用や品質が悪いケーブルでは正常に通信が行えません。その他のケーブルでも動作保証はできかねます。
	ソフトウェア、アプリが正常に動作していない	ソフトウェア、アプリを再起動してお試しください。 ソフトウェア、アプリの最新版をインストールしてお試しください。
LCDディスプレイにキズが入っている。	保護フィルムがキズのように見えている	本体表示部には「保護フィルム」を貼った状態で出荷されています。気になる場合は「保護フィルム」を剥がしてご使用ください。
計測を行おうとすると「1280×720 Resolution Only」と表示され実行できない	1280×720以外の解像度に設定されている	「設定」→「Select Resolution」→「1280×720」に設定してから、再度実行してください。
映像が不鮮明	アタッチメントが汚れている	アタッチメントを清掃してください。

■上記をお試しいただいても改善されない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

製品仕様

製品名	オートフォーカスマイクロスコープ VIEWTY
型番	3R-MSBTVTY
対応OS	Windows11/10 一部のAndroid ※すべての動作を保証するものではありません。
倍率	10～250倍(21.5型モニタ基準)
作動距離	40倍:3cm～∞/100倍:1～4.5cm/ 180倍:0～1.7cm/250倍:0～0.8cm
撮影範囲	40倍:10.8×6mm 250倍:1.8×1mm
カメラ	1/3型 CMOSセンサ
カメラ解像度	2304×1536
フォーカス	自動/手動
ホワイトバランス / 露出	自動
光源	白色LED×6(標準) 白色LED×4(穴&コーナー用) ON/OFF
動画サイズ	MP4(1920×1080)20fps (1280×720,720×480,640×480)30fps
静止画サイズ	JPG (1920×1080,1280×720,720×480,640×480)
計測機能	あり
電源	入力:DC5V 320mA(USB供給)
寸法	約176mm×29mm×26mm
重量	約89g

※仕様・外観などは改善のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

パソコン動作要件

対応OS	Windows 11/10
必要スペック	CPU: Intel Celeron 2.0GHz 以上 メモリ: 2GB 以上 HDD: 20MB 以上
推奨スペック	CPU: Intel Core i5 以上 メモリ: 6GB 以上

サポート及び企業情報

製品保証

ご購入日から1年間

※注文確認メール、あるいは店頭購入の場合は販売店の納品書やレシートなど、購入日がわかる書面の保管をお願い致します。

保証規約はこちらからご確認くださいませ。

URL <https://3rrr-hd.jp/guarantee/agreement/>



製品に関するお問い合わせ先

下記お問い合わせ窓口もしくは販売店へお問い合わせください。

※製品の不具合によるお問い合わせにつきましては、内容確認のため画像が必要な場合があります。メールでお問い合わせいただけますとスムーズです。

※メールでお問い合わせの際はご購入いただいた日付が記載された【レシート】または【領収書】の画像の貼付をお願いします。

※ネット通販(ショッピングサイト)で購入された場合は、【購入店舗名】と到着した製品に同梱されていた【納品書】や【受注完了画面】の画像の貼付をお願いします。

MAIL

product-support@3rrr-hd.jp

TEL: 092-260-3031 FAX: 092-441-4077



スリーアールソリューション株式会社

〒812-0008 福岡市博多区東光2丁目8-30 2階

WEB : <https://3rrr-btob.jp/>